

令和6年度第1回富山県環境審議会水環境専門部会 議事概要

1 日時

令和7年2月19日（水）10時から11時まで

2 場所

富山県民会館 509 号室（オンライン併用）

3 出席者

委員等：楠井専門部会長、内田専門員※、倉光専門員※、黒田専門員※、高橋専門員、高松専門員※、手計専門員※、中山専門員※

※オンライン参加

事務局：中島生活環境文化部参事、吉森環境保全課長ほか

4 議事

(1) 令和7年度公共用水域及び地下水の水質測定計画の作成について

事務局から、資料1～3及び参考資料1～3について説明後、質疑応答が行われた。

令和7年度公共用水域及び地下水の水質測定計画については、県の原案に対して異議がない旨を決議した。

(2) その他

事務局から、水質汚濁事故及び冬期間の地下水位低下について説明後、質疑応答が行われた。

5 主な意見、質疑応答

(1) 令和7年度公共用水域及び地下水の水質測定計画の作成について

【委員等】

大腸菌数について、令和5年度と令和4年度で不適合の地点が似ている。4月から大腸菌数に係る排水基準の法改正があるが、排水状況を面的に把握して対策をしているのか。1年間でそんなに変化がないということは、何も対策をしていないのか。

【事務局】

排水状況の把握については、事業者への立入調査において、排出水の大腸菌数の測定や事業者による自主測定結果の確認を行う。また、公共用水域の水質測定により大腸菌数の状況を把握することとしている。これらをあわせて大腸菌の発生状況を面的に整理し、汚染原因の検討を進めていきたいと考えている。

なお、黒瀬川については昨年度の対策事業の効果により改善の傾向にある。他の高い地点である阿尾川や余川については、旅館業や畜産農場からの排出があるが、旅館業の排出水は大腸菌数に問題はなく、畜産農場は排出水が1m³/日未満の小規模のところ

多い。一方で、これらの川には生活排水も流れ込んでおり、その影響もあって汚染原因の特定には至っておらず、対策はなかなか難しいところがあると考えている。

【委員等】

大腸菌数について、松川で11月に特に高い値が出ているが原因は分かっているのか。また対策を行っているのか。大腸菌群数ならば季節変化があるが、大腸菌数はあまり季節変化がないと一般的に言われる。合流式下水道の影響であるなら台風の影響なのか。

【事務局】

富山市に確認したところ、合流式下水道があるため、大雨時には未処理の汚水が放流されることが原因として考えられるとのこと。11月が高い理由は解析を行っておらず分からない。

【委員等】

松川では雨水貯留管を設置して、雨天時の合流式下水道からの排水を減らしているが、完全に合流式がなくなったわけではないので、どうしても高い傾向になってる。

【委員等】

年平均で大腸菌数や各水質の経時変化を確認することが今後の水質管理に役立つ。

【事務局】

大腸菌数については、令和4年度からの結果となるが傾向を把握したい。

【委員等】

PFOS及びPFOAについて、今年度、地下水など多くの地点で調べていて素晴らしい。

今後、河川や湖沼では監視を続けるが、どうして地下水の調査を実施しないのか。地下水は、河川や湖沼よりも、場所によってばらつきが大きいので、より多くの地点で調べた方が、汚染を見つけるには重要である。

また、地下水は昔の汚染を反映して、今の水質があるので、今後増えていく可能性もあるため経年変化を確認するのも重要である。

【事務局】

河川は来年度、富山市が調査を行うことで全県的に網羅できる。地下水については今年度、面的にやったなかで超過する地点がなかったため、来年度は県としては追加の調査を見合わせているが、富山市で現在検討中と聞いている。

また、国において、水道の方は水質基準に格上げということで、環境の方も要監視項目から環境基準へ位置づけるなどの検討がなされていると聞いており、こうした動きがあった場合には、追加の調査を検討していきたい。

【委員等】

下条川稲積橋で比較的高い値が検出された原因を何か特定できているのか。地下水の濃度との関連があるのか。

【事務局】

下条川は射水平野を流れる都市河川であって、下流部の方は流れがあまり早くないため、やや高い値が出たのではないかと考えられるが、詳しい原因については今のところ特定はできていない。また地下水との関係については、周辺の調査地点で特に高い値の

検出はなく、地下水の汚染が流れてきているという状況は確認されていない。

【委員等】

地下水を測らないことについて、今後、何かのソースができて、河川の濃度が高くなったときに、その川だけではなく地下水も含めて、トータルで測定していく必要はある。

【委員等】

まだ PFOS 等を含有した製品の在庫が県内の事業所にもあり、また、全国的には廃棄物処分場が発生源になった事例もあるので、やはり定期的に監視していく必要がある。

【事務局】

これから国の動向もあると思うので、これで終わったわけではなく、引き続き適切に調査を行っていく必要はあると考えている。

【委員等】

今後については、PFOS 及び PFOA の問題、調査結果のまとめ方について、より工夫をしていただき、また今後計画をしていただくことが必要である。

特にご意見がなければ、令和 7 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画については、事務局の原案どおりということによろしいか（各委員等了承）。

【委員等】

異議なしということで、ただいま決議したとおり、環境審議会に報告を行いたい。報告の手続きについては、私にご一任をお願いしたい（各委員等了承）。

(2) その他

○冬期間の地下水位低下について

【委員等】

県民からの問合せについて、どのように答えているのか。また今後、具体的にどういう方向に持っていくのか。

【事務局】

県のホームページ等で水位の状況を案内して、水位が下がってるので断水などが起きていることを説明している。また、注意報発令して対応しているので、水位の回復を待ってくださいというようなお話もしている。

今後は、まず県民の皆様からの声の内容とか、工場・事業場でどのような取組みが行われたのかというようなことを取りまとめる。また、「地下水の守り人」として施設の管理者等に講習する機会にて消雪装置の維持管理などの対策についてご理解いただけるような対策を進めていく。

【委員等】

水がありすぎて困るとか、水がすぐ涸れてしまうことは地下水の地域性の問題だと思う。富山県では昔から地下水の調査などをしており、特に水位、水文地質情報もパブリッシュされていたと思うので、地下水のハザードマップではないが、帯水層の薄いところはくみ上げに注意しましょうというマップを公開しておくとか分かりやすい。

【事務局】

これまでの資料等を整理し、検討したい。その時にはご相談させていただくかもしれないのでよろしくお願いします。